

学研地区における小学校新設事業の進捗状況について ～（仮称）ひびきの小学校～

1 新設の理由

若松区と八幡西区にまたがる学研地区において、大規模な宅地開発で光貞小学校の児童数が増加を続けており、教育効果の向上と教育環境の整備を図るため、平成 29 年 4 月に光貞小学校を分離して小学校を新設する。

また、学研地区の中心部に設置し、現在は高須小学校の通学区域となっている地域も含めた学研地区全体を通学区域とすることにより、学研地区が 1 つのコミュニティとして機能できるよう配慮している。

2 新設校の特長

市民センター、放課後児童クラブと合築した複合施設（市内新設校では初）

3 開校の時期

平成 29 年 4 月（予定）

4 校舎の位置

北九州市若松区大字塩屋 739 番地 3
（北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業地内）

5 通学区域

若松区 塩屋二丁目・三丁目、大字塩屋、小敷ひびきの二丁目・三丁目
大字小敷、ひびきの、ひびきの北、ひびきの南一丁目・二丁目
八幡西区 本城学研台一丁目～三丁目、大字本城の一部

6 母体校の現況（平成 26 年 5 月 1 日現在）

	光貞小学校	高須小学校
開校年度	昭和 57 年度	昭和 59 年度
所在地	八幡西区光貞台一丁目 4 番 1 号	若松区高須東四丁目 14 番 1 号
校長	澤村 宏志	宗岡 昭弘
学級数・児童数	33 学級・1,091 人	17 学級・470 人

7 開校時の新設校の学級数及び児童数推計（平成 26 年 5 月推計）

29 学級、約 940 人

8 学校名のアンケート結果

実施期間	7月10日～8月5日
対象	児童、保護者、教職員、地域住民など
応募総数	1,430票
校名案	351案

【校名案の上位5案】

順位	校名案	票数	割合
1	ひびきの（響きの、響のなどを含む）	820	57.3%
2	ひびき（響などを含む）	53	3.7%
3	学研ひびきの	31	2.2%
4	学研	20	1.4%
5	塩屋	18	1.3%

新校舎の整備概要について

1 基本コンセプト

教育環境の質的向上や安全・安心な教育施設環境の確保を図るとともに、校区内の他の公共施設との複合化を通じて新たな地域コミュニティの拠点形成など、時代のニーズに対応した施設とするため、市民センター及び放課後児童クラブとの複合施設とする。

- 学校づくりとして最適な北側校舎・南側グラウンド配置
 - ・採光、通風などに配慮した良好な学習環境
- 児童の安全性を考慮した施設づくり
 - ・児童と自動車の動線を区分する、職員室を児童の動線上に配置するなど児童の安全を第一に確保
- 地域開放ゾーンを前面道路側に配慮した開かれた施設づくり
 - ・市民センター、放課後児童クラブ、屋内運動場（体育館）などを前面道路側に配置
- 環境に配慮した施設づくり
 - ・太陽光発電システムの導入など、環境に配慮した施設づくり
- 防音対策
 - ・防衛省防衛施設周辺防音事業4級工事（エアコン、防音仕様の天井を施工）に該当

2 施設整備の概要

所在地：北九州市若松区大字塩屋739番地3（北九州学術・研究都市北部土地地区画整理事業地内）

敷地面積：約24,000㎡（うち平地部分 約19,000㎡）

建物：鉄筋コンクリート造、地上4階

施設内容：小学校（普通学級30教室、特別支援学級2教室）、市民センター、放課後児童クラブ

建物延床面積：約13,000㎡（市民センター、放課後児童クラブ含む）

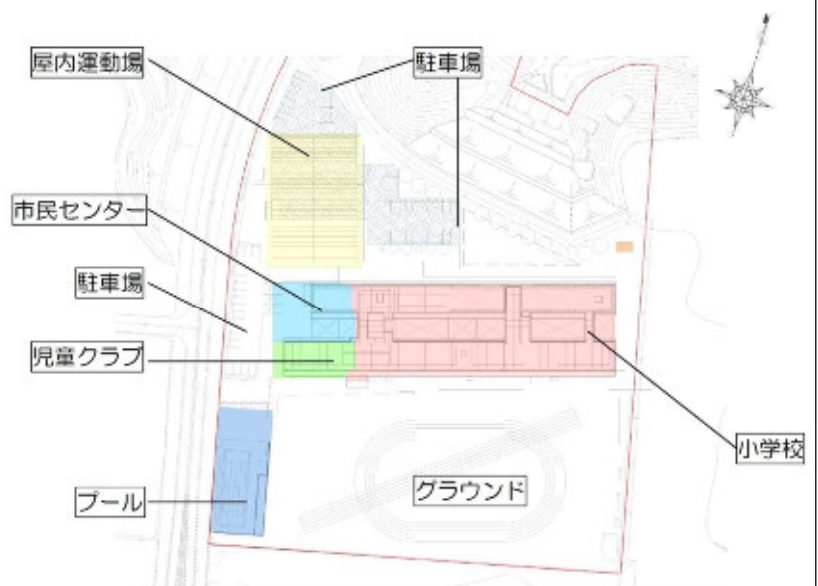
スケジュール：～平成27年3月	実施設計
平成27～28年度	建築工事
平成29年4月	開校（予定）

3 ゾーニング計画図

- 校舎棟を敷地中央に、南側にグラウンドを配置
- 校舎北西に屋内運動場、南西にプールを配置
- 市民センター、放課後児童クラブは西側に配置



- ◆ 東側はセキュリティの高い児童の生活の場に
- ◆ 西側は開放ゾーンとして地域交流促進の場に



※ ゾーニング計画図は基本設計段階のものであり、今後変更の可能性があります。

4 完成イメージ



【南西方向からの鳥瞰図】



【前面道路（西側）方向からの外観イメージ図】

※ 完成イメージは基本設計段階のものであり、今後変更の可能性があります。